

乾しいたけ栽培技術情報「夏場の気象と散水」 H22-7

1. 概況と見通し

県内 4 産地について、4 月から 8 月までの気温、降水量をまとめたところ、いずれの産地でも、6 月中旬以降の平均気温は平年より 5℃以上高く推移しました。また、降水量は 7 月以降で平年を下回り、特に南部でその傾向が強いようです。シイタケ原基の形成は 20℃付近で最も盛んで、高温では原基が消える（流れる）とされています。今年は先日まで暑さが続き、この後もしばらくは、原基の形成可能な温度域が続くと思われ

2. 今後の作業ポイント

原基の形成にはホダ木中の水分が必要ですので、これまでに雨が少なく、ホダ場（ホダ木）が乾燥していると思われる地域では、発生時期に入る前に、積極的に散水を実施するようにしてください。なお、湿度が高いホダ場での対策は、前号（No. 6）をご参照ください。

○この情報に関するお問合せはこちらまで（岩手県しいたけ産業推進協議会事務局）

林業振興課 電話:019-629-5770 FAX:019-629-5779 E-mail:AF0010@pref.iwate.jp

○この情報を含め、様々な相談はこちらまで

林業技術センター 電話:019-697-1536 FAX:019-697-1410 E-mail:ce0011@pref.iwate.jp